

お知らせ

- 同志社京田辺会堂光館ラウンジ展示 (第13期展)
 テーマ:「同志社のGLOCAL-京田辺とのあゆみ-」
 会期:9月21日(火)~2022年3月中旬 9:00~17:00
 *土・日・祝日、大学休校期間を除く。
 新島襄や同志社の歴史と建学の精神に関する展示を行っており、半期ごとに展示資料を入れ替えています。自由にご覧になれますので、ぜひお越しください。



- チャプレンとの面談
 学生の人生における悩みや不安などの相談に応じています。面談をご希望の方は、キリスト教文化センター事務室にお申し込みください。
 (教会のみならず、学校、病院などで働きを担う牧師をチャプレンと呼びます。)
 今出川校地・京田辺校地
 随時受付 越川 弘英、森田 喜基
 今出川校地
 木曜日 13:00~15:00 入 順子
 京田辺校地
 金曜日 10:30~12:30 竹ヶ原 政輝

- メディテーション・アワー
 オルガニストによるオルガン演奏を聴きながら、心静かなひとときをお過ごしください。
 今出川校地 9月27日(月)~12月23日(木)までの月~木 12:40~13:00
 会場:同志社礼拝堂
 (11月はクラーク・チャペル)
 京田辺校地 9月27日(月)~12月23日(木)までの月・木 12:40~13:00
 会場:同志社京田辺会堂
 言館(KOTOBA-KAN)礼拝堂

- Doshisha Spirit Week 2021 秋
 10月25日(月)~10月30日(土)
 同志社大学の歴史や建学の精神、新島襄についての貴重なお話を伺い、同志社人としてのアイデンティティをより深める機会として、Doshisha Spirit Weekを毎年、春学期と秋学期に開催しています。詳細につきましては、ホームページをご確認ください。
 <講演>
 Zoomによるオンライン開催です。
 10月26日(火) 10:45~
 「未定」
 生命医科学部教授 廣安 知之
 10月27日(水) 10:45~
 「キリスト教と女性の権利の歴史」
 神学部嘱託講師 三木 メイ
 10月28日(木) 16:40~
 「新島襄の孤独と同志社」
 同志社女子大学学芸学部特任教授 中村 信博
 <キャンパスめぐり隊>
 解説つきで、今出川校地キャンパス内をめぐり歩きます。
 10月29日(金) 13:10~
 「古写真でめぐる今出川キャンパスの昔」
 案内人 同志社社史資料センター
 社史資料調査員 松居宏枝
 この他、京田辺校地では同志社大学応援団による演舞も予定しています。

- 聖書に親しむプログラム
 一人ひとりが聖書と向き合い、ディスカッションを通じて聖書に親しむための集いです。大学に入学して初めて聖書を手に取った、という方ももちろん大歓迎。開講期間中に行っています。
 <今出川校地>
 「聖書を学ぶ会」2ヵ月に1回程度
 「バイブル・シェアリング」毎週木曜日 13:45~14:30
 いずれもクラーク記念館ラウンジ(クラーク記念館1階)
 <京田辺校地>
 「聖書研究会」原則第2、第4水曜日 10:45~11:45
 同志社京田辺会堂光館(HIKARI-KAN) 森田研究室
 「聖書講座」毎週金曜日 11:00~11:45
 同志社京田辺会堂光館(HIKARI-KAN) チャプレン室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更になる可能性があります。各行事の最新の情報は、HPまたはキリスト教文化センター掲示板のポスター等をご覧ください。
 HP: <http://www.christian-center.jp/>

✦ チャペル・アワー案内

2021年9月21日

No.253

同志社大学

キリスト教文化センター

京田辺
0774-65-7370
今出川
075-251-3320

HP
<http://www.christian-center.jp/>



聖書に出てくる植物「リム」

切り絵 中谷隆志



秋学期チャペル・アワー統一テーマ

「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。」
 (箴言27章17節より)

英語は「Proverbs」と訳されているとおり、「箴言」は旧約聖書に収められている格言集です。「箴」は裁縫での針のことで、人生に突き刺さる針のような鋭い言葉が、ぎっしり詰まっています。この箇所、別の翻訳では「鉄は鉄で研がれ/人はその友人の人格で研がれる。」(聖書協会共同訳)とあり、鉄の刃が互いにこすられると両方とも鋭くなるように、人もお互いに切磋琢磨しあう友の存在によって、人格が研がれることを語ります。

少し前にドラマで大ヒットした漫画『ドラゴン桜』には「性格の悪い人間は受験に失敗する」というテーゼがあります。一人ではなく、複数人で学ぶことにより、もし過ちがあれば指摘しあえる「学校」という場で、学力的にも人間としても成長する姿が描かれています。新島襄は、同志社教育について「普通の英学を教えるだけでなく」「良心を手腕に運用する人物」を生み出すこととしました。この同志社の教育理念は、一人一人が友と語り、時にぶつかるなどの営み抜きには達成できません。コロナ禍でも私たちが大切にすべきこと、聖書は問うていくのではないのでしょうか。

(キリスト教文化センター准教授 森田 喜基)

チャペル・アワー

秋学期…9月28日(火)～2022年1月21日(金) *授業開講日に実施します。(11/3・11/23を除く)
 ◎当日の奨励題など詳細につきましては、ホームページや学内掲示板をご覧ください。
 ◎秋学期の授業は対面とオンライン配信の2形態で実施されることに伴い、チャペル・アワーも対策をしながら礼拝堂で行うとともに、一部はオンライン配信で提供する予定です。
 ◎チャペル・アワーに参加の方は、マスクを着用し、間隔を空けて着席してください。
 ◎ご退出の際は、入口で配布した参加者カードをご提出ください。

スケジュール (秋学期前半)

京田辺校地

11/16	内山友也	日本キリスト教団京都美教会牧師
11/9	渡辺圭一郎	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師
11/2	川江亜希子	日本キリスト教団南大阪教会伝道師
10/26	吉岡恵生	日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師
10/19	内山友也	日本キリスト教団京都美教会牧師
10/12	渡辺圭一郎	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師
10/5	川江亜希子	日本キリスト教団南大阪教会伝道師
9/28	森田喜基	キリスト教文化センター准教授

火曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館礼拝堂 毎火曜日12時35分～13時

水曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館礼拝堂 毎水曜日12時35分～13時

11/17	増田齋	京都ノートルダム女子大学講師
11/10	鳥井新平	日本キリスト教団部落解放センター活動委員
10/27	棟方信彦	Doshisha Spirit Week 2021 秋 頌栄保育学院院長・頌栄短期大学学長
10/20	片桐滋	理工学部教授
10/13	三輪地塩	神学部助教
10/6	上野玲奈	日本キリスト教団香里ヶ丘教会協力牧師
9/29	入順子	日本キリスト教団京都教会副牧師

金曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館礼拝堂 毎金曜日12時35分～13時

11/19	今井このみ	日本キリスト教団河内天美教会牧師
11/12	山下壮起	日本キリスト教団阿倍野教会牧師
11/5	竹ヶ原政輝	日本キリスト教団高の原教会牧師
10/29	谷香澄	日本キリスト教団能登川教会牧師
10/22	今井このみ	日本キリスト教団河内天美教会牧師
10/15	山下壮起	日本キリスト教団阿倍野教会牧師
10/8	竹ヶ原政輝	日本キリスト教団高の原教会牧師
10/1	越川弘英	キリスト教文化センター教授

今出川校地

11/16	大山修司	日本キリスト教団膳所教会牧師
11/9	北村太一	文学部生
11/2	森田喜基	キリスト教文化センター准教授
10/26	春名康範	Doshisha Spirit Week 2021 秋 日本キリスト教団伊丹教会牧師
10/19	金度亭	日本キリスト教団ゴスベルハウス教会牧師
10/12	大林勲貴	神学研究科生
10/5	安藤昭良	日本キリスト教団牧師
9/28	竹ヶ原政輝	日本キリスト教団高の原教会牧師

火曜チャペル・アワー

同志社礼拝堂 毎火曜日17時30分～18時10分

水曜チャペル・アワー

同志社礼拝堂 毎水曜日10時45分～11時30分

11/17	勝又悦子	神学部教授
11/10	高田太	日本キリスト教団同志社教会副牧師
10/27	今井このみ	Doshisha Spirit Week 2021 秋 日本キリスト教団河内天美教会牧師
10/20	中野泰治	神学部准教授
10/13	早瀬和人	日本キリスト教団宇治教会牧師
10/6	家山華子	日本キリスト教団箕面教会牧師
9/29	佐々木典子	司法研究科教授

金曜ランチタイム・チャペル・アワー

同志社礼拝堂 毎金曜日12時35分～13時

11/19	宮岡真紀子	日本キリスト教団北千里教会牧師
11/12	入順子	日本キリスト教団京都教会副牧師
11/5	堀江有里	日本キリスト教団牧師(京都教区巡回牧師)
10/29	越川弘英	キリスト教文化センター教授
10/22	三輪地塩	神学部助教
10/15	宮岡真紀子	日本キリスト教団北千里教会牧師
10/8	入順子	日本キリスト教団京都教会副牧師
10/1	堀江有里	日本キリスト教団牧師(京都教区巡回牧師)



エッセイ

『せっかく同志社ですのび』

青山 謙二郎

「選択的夫婦別姓」を求める訴えは今年の6月、また最高裁判所から退けられました。法律を専門にするわけではない私は「報道によると」という言い訳をつけながら執筆しますが、今回の判決は2015年の最高裁判決を踏襲しているそうです。2015年判決では、夫婦同姓制の合理性として「家族を構成する個人が、同一の氏を称することにより家族という一つの集団を構成する一員であることを実感すること」といった理由が含まれているそうです。興味深い理由です。

私は心理学部の1年生の授業で「大学で学ぶことの意義」についての個人的な考えを述べています。「役に立つ知識を身につける」ことも大事だけれど、それにもまして「自分が選んだ学問を通じて『考え』を学んでほしい」というのが私の考えです。たとえば「3歳までは母親が子育てに専念しないと成長に悪影響を及ぼす」と言われることがありますが、そこで主張される因果関係は本当でしょうか。どのようにして因果関係を確かめればよいのか、その考え方を学んでほしいのです。この考え方を身につけると「夫婦が同姓であれば家族の一体感が強まる」という主張の因果関係は本当なのかを考える上でも役に立ちます。

このようなことはどの大学で学ぶにしても重要なことだと思いますが、せっかく「同志社」で学ぶからにはキリスト教の価値観に触れてほしいと思っています。キリスト教の専門家ではないので個人的な意見を気軽に表明しますが、キリスト教の価値観で最も重要なのは、一人ひとりを大切にすることだと思っています。つまり、自分と同じように相手を大切にすることです。同姓あるいは別姓を全体に強制する社会よりも、選択を認め合う社会の方がこの価値観には合っているような気がします。

「だから選択的夫婦別姓こそが正しい」と言っているわけではないありません。ある特定の価値観に近いと言っているだけです。これでも大衆教員の端くれですので「先生の言うことを無批判に信じてはだめだよ」とも言っておきます。

私はクリスチャンの教員として「クリスチャンだから善人にちがいない」といった偏見から皆さんを解放する上では役に立っていると思いません。しかし、残念ながら何がキリスト教の重要な価値観なのかを説得力をもって論じることができません。幸いチャペル・アワーではもっとちゃんとした人が話をしてくれます。自分の価値観を広げるためにご活用ください。

(あおやま・けんじろう＝心理学部教授)